

この9日間で、僕はたくさんの経験や学びを得た。これは、今となっては僕のかげがえのないものになっている。

僕がこの9日間で一番強く感じたことは、人とのつながり、そして平和の大切さだ。79年前の八月、日本とアメリカは敵同士だった。戦争をしていたのだ。富士吉田市とコロラドスプリングスも例外ではない。しかし今は、姉妹都市として文化交流をしている。八月にこの姉妹都市派遣事業に参加できたことは、僕にとって意味のあるものになった。

ホストファミリーのオーナーが僕にサメの歯をくれた。何も言わずに笑いながら渡してくれたのだが後で調べてみると、災いを退ける魔除けの意味があると分かった。アメリカでの滞在の安全を願ってくれていると思いとてもうれしかった。彼は5月に文化交流のため富士吉田市を来訪し、その2日間を僕の家で過ごした。短い間だったので思うようなおもてなしができなかった。僕が帰国した後、お礼のメールを送ると、「アメリカを楽しんでもらえて本当に嬉しいです。私たちもあなたをお迎えして本当に楽しい時間を過ごしました。あなたのご家族が私にしてくれたことと同じことを、私もあなたにできて嬉しいです。」と返事がきた。これこそが人とのつながりなのだと感じた。コロラド大学の方々や南コロラド日米協会の方々も僕たちのために色々計画をしてくれ、とても楽しい時間を過ごせた。

今回の派遣事業には、たくさんの人が関わってくれていた。しかも、昔は敵対していた国同士とは思えないぐらいの手厚いサポートや企画をしてくれた。そして、僕達に優しく接してくれた。僕は、心がとても温かくなった。僕達に思う存分アメリカを楽しんでほしいという強い熱意を感じられた。こういったところにも人とのつながりがあると思う。

この9日間では様々なことがあった。楽しかったことやうれしかったこと、初めての体験や発見もあった。そのすべてがこれからの自分の人生の糧になっていくと思う。異国の文化に触れ、地元の人と交流することはめったにない体験だった。だからこそ、色々なことを学ぶことができたし、アメリカのことについてもっと知りたくなった。

僕は近い将来アメリカに行きたいと思っている。